

「難聴児への話し方・理解を深める工夫」

1. 話題を知らせて、はじまりと終わりを意識して話す
2. ゆっくり、しかし自然に話す
3. いつも口が見えるようにして話す
4. 一度に通じない時は、別の言い方で繰り返す
5. 表情や身体表現を使って豊かに話す
6. 視覚的な手がかりを多くつけて話す
7. 一度に複数の人が話しかけない。発言者は挙手して位置が分かるようにする。
8. 「はい」とうなずいてくれても、もう一度確かめる
9. 周囲の騒音を少なくして、近づいて話す
10. 聞きながら書けないので、書く時間は別に確保する
11. FM補聴器の利用